



# 福祉葬とは

## ～自治体からの葬祭扶助～

もしものときの  
安心ツール  
ケアマネジャー様  
お役立ち情報紙

# あんしる新聞

Vol.18

### 【福祉葬とは】

福祉葬とは、生活保護を受けている方や、葬儀費用の負担が難しい方のために行われる葬儀です。自治体から「葬祭扶助制度」という補助金が支給され、その範囲内で執り行われます。通夜や告別式などは行わず、必要最低限の火葬のみを行うのが一般的です。費用は自治体から葬儀社へ直接支払われるため、遺族や喪主の自己負担はありません。（※故人様が生活保護受給者であっても喪主様が生活保護受給者でない場合は、支払い能力があるとみなされ葬祭扶助の申請が通る可能性が低くなります。）

福祉葬は、お寺様からの読経がいないプランとなります。必要な場合は火葬後、お骨になつてから「骨葬」という形で読経を行うことも可能です。

### 福祉葬プラン

219,000円(葬祭扶助額)

札幌市2025年

基本プランセット内容

- 祭壇生花
- 棺
- 線香・ロウソク
- 枕花・枕飾り・ポリマーシート
- 御骨箱・骨覆い・収骨セット
- 仏衣
- 保冷剤
- 納棺
- 搬送料金
- 霊柩車

### 福祉葬の流れ

#### ◆ 1日目 ◆

##### ① 連絡・申請

- 役所と葬儀社へ連絡します。
- 葬祭扶助制度の申請を行います。

##### ② お迎え

- 担当者（葬儀社）が施設や病院などにお迎えに伺います。

##### ③ ご安置

- お迎え後、指定の安置所・葬儀社にご安置します。

##### ④ 納棺

- お身体を清め、お着替えをしていたき、棺にお納めします。

#### ◆ 2日目 ◆

##### ⑤ 出棺

- 火葬場に向かい、火葬を行います。拾骨を行い終了となります。



### 【身寄りがいない方の納骨】

火葬後の遺骨は、まず自治体の保管施設で一定期間保管されます。その間、自治体は故人の親族を探しますが、期間中に見つからなかった場合は、遺骨は「無縁塚（むえんづか）」と呼ばれる、自治体や寺院が管理する合葬墓に埋葬されます。無縁塚では、他の方の遺骨と一緒に合同で納められ、供養は自治体や寺院が永代にわたって続けてくれます。

一度無縁塚に納骨された遺骨は、後から親族が現れても個別に引き取ることはできません。そのため、生前に「死後事務委任契約」を結んでおくことで、自分の希望する納骨方法を事前に伝えておくことができます。

なお、札幌市の豊平区・清田区・西区の3か所に市営霊園があります。



**あんしる**  
介護施設・老人ホーム紹介

〒060-0807  
札幌市北区北7条西1丁目2-6  
NCO札幌16階  
☎：0120-136-777  
受付時間 9：30-17：30  
✉：info@anshiru.jp  
HP：https://anshiru.jp/



←YouTube

ホームページ→



**コープの家族葬  
ウィズハウス**

福祉葬の仕組みを、今回初めて知ったという方も多いかもしれません。経済的な事情や身寄りの有無にかかわらず、誰もが安心して最期を迎えられるための制度です。あんしるは介護施設の紹介を通して、日常の安心を支えるお手伝いをしています。また、グループ会社の『コープの家族葬ウィズハウス』では、福祉葬をはじめ、多くの葬送の場面で故人の思い出と共にご家族に寄り添っています。人生の【暮らし】と【おくり】をつなぐ存在として、これからもあんしるは活動を続けてまいります。過去のあんしる新聞では「葬儀のマナー」についてもご紹介しています。ぜひ併せてご覧ください。

